

保健福祉学部 看護学科4年 竹元育実さん



Q 学生生活はどうか？

私は、実家暮らしのため広島市内から三原まで電車で通っています。電車の中では音楽を聴いたり、好きな韓国ドラマや映画を観たりして、充実した時間を過ごしています。また、市内から通っている友人が多数いるので、一緒に楽しく通学しています。オンライン授業時は通学に比べて時間にゆとりができます。休日だけでなく平日にもアルバイトを入れ、家で料理をするなど、楽しみと勉強を両立させながら過ごしていました。

Q 課外活動は何をしていますか？

大学では、硬式テニスサークルに所属しています。また、他大学と合同で、広島県内の一型糖尿病の小児とサマーキャンプを行うボランティアに参加しました。準備の段階から関わり、当日は子どもたちが安全に過ごせるよう、見守り役として様々なサポートを行いました。4泊5日のキャンプを通し、子どもたちができなかったことができるようになる姿を見て、とてもやりがいを感じました。現在は三原キャンパスを中心にウクライナの方々を支援するための募金活動を行っています。

Q 受験勉強はどのようにしましたか？

私は高校時代、吹奏楽部に所属しており8月まで部活動をしていました。周囲はすでに受験勉強を本格的に開始していたため、受験勉強開始時は焦りもありましたが、引退後に切り替え、毎日学校の自習室などで集中して勉強しました。主に学校で使用していた参考書や試験の過去問題集を中心に解きました。わからない問題は先生に積極的に聞きに行き、苦手な分野を一つ一つ無くしていきました。

保健福祉学部 看護学科4年 吉村清香さん



Q 学生生活はどうか？

私は、実家から電車で通っています。友人には実家から電車で通っている子が多いので、電車の中で友人と話しながら楽しく帰宅しています。テスト前には、通学時間も利用して勉強をしていました。テストや実習などで困ったり悩んだりすることもありましたが、同じ目標に向かって一緒に頑張っている仲間に支えられ、乗り越えることができました。アルバイトは、学業とのバランスを考えながら行っています。

Q これからの目標は？

人々の健康の維持のために必要な予防医療に携わる保健師になり、地域で活躍することが現在の目標です。私は、3年次から保健師課程を選択しています。将来は、地域の方々の生活や思いに寄り添い、信頼関係を築きながら、地域の特性を活かした健康づくりの支援ができる保健師になりたいです。この目標に向かって実習や勉強に全力を尽くしています。

Q 受験勉強はどのようにしましたか？

私は、推薦入試で県立広島大学に入学しました。小論文試験は、学校にある過去問を全て書き、先生に何度も添削をしていただきました。面接試験では、ホームページで大学の特色などを確認した上で、県立広島大学に入学したいという強い思いを言葉で伝えられるように何度も練習をしました。受験生の皆さんは、不安でいっぱいだと思いますが、日々の積み重ねが自分の力になります。体調には気を付けて頑張ってください！

保健福祉学部 理学療法学科4年 倉田加奈子さん



Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？

県立広島大学に沢山の魅力を感じたからです。まず、医療福祉関連の5学科が1つのキャンパスに集まっており、他学科と合同での授業もあることから、他学科と交流することや多職種連携について学ぶことができます。また、このような横のつながりに加えて、先輩や後輩との縦のつながり、先生方とのつながりが深いことも魅力に感じました。次に、国家試験の合格率だけでなく就職率も100%であることも大きな魅力だと思います。

Q 学生生活はどのようなですか？

空きコマや休憩時には友達と一緒に話したり、レポートに取り組んだり、テスト前には勉強をしたりして過ごしています。食堂や図書館のラーニングコモンズ、談話室など、大学内のスペースを利用するのはもちろん、学外に出て友達の家に集まったり、カフェに行ったりすることもあります。授業外でも充実した時間を過ごしています。

Q 大学に入って成長したことは？

1番成長したと感じるのは「思考力」です。授業を通して様々なことを知ったり、グループワークなどで自分とは違う意見を知ったりして、物事を多角的に考えることができるようになりました。また、臨床実習を経験したことで、学内での座学や実技演習を実践することの難しさや楽しさを知りました。臨床の場を知り、今後の学修のモチベーションにもなりました。

保健福祉学部 理学療法学科4年 村岡壮平さん



Q 学生生活はどのようなですか？

一人暮らしをしているので、高校生の時と比べて自由な時間が多いと感じています。サークル活動やバイト、友人と交流する時間などが十分に確保できるので、毎日充実しています。特に、サークル活動は普段話す機会のない他学科の人や先輩、後輩と関わることができるので、興味があるところには積極的に参加していました。このようにして交友関係を広げることで、より楽しいキャンパスライフが送れると実感しました。

Q 課外活動（サークル活動やボランティア等）は何をしていますか？

運動系のサークルに複数参加し、大学から始めた硬式テニスサークルでは部長をしていました。それに加えて、1年生時から社会人バレーにも参加しています。サークルや社会人スポーツと勉強の両立は慣れるまでは難しいですが、それ以上に価値のある時間になることは間違いないです。多くの人と接する中で言葉遣いや挨拶などの礼儀を学べ、大学生活を共に過ごす仲間ができるので、ぜひ色々な活動に参加してみてください。

Q 大学に入って成長したことは？

まず、自己管理能力が身についたことです。一人暮らしなので掃除や洗濯などの家事、講義やバイトの日程調節、適度なストレス発散など、社会人の基礎となる力を高めることができました。また、友人や先生、実習での患者様と接し、様々な考えに触れることで、知識だけでなく気遣いや思いやりといった人間性も大きく成長できたと感じています。

保健福祉学部 作業療法学科4年 滑結衣さん



Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？

オープンキャンパスで訪れた際、在学生と先生方の仲の良さや、フレンドリーに話しかけてくださるアットホームな雰囲気に惹かれました。またカリキュラムでは、大学1年生の頃から短期の実習があり、学外での経験が段階的に積めることや、他学科にも医療職の学科がある事でチーム医療についても学べることに魅力を感じ、県立広島大学の受験を決めました。

Q 学生生活はどうですか？

一人暮らしをしており、自分の時間を自由に過ごせることができ最高です！また、一人暮らしをしている友人が多いので、休みの日や学校終わりは一緒にご飯を食べに行ったり、お泊まりができたり、とても楽しいです。授業や実習など大変なこともあります。友達と支え合ったり、先輩方や先生方がサポートしてくれたりするので乗り越えることができます。サークル活動やアルバイトでは、他学科の友達ができ、先輩・後輩とも仲良くなることができたので始めて良かったなと思っています。

Q 受験勉強はどのようにしましたか？

私は学校推薦型選抜で受験したので、センター試験の勉強と並行して、小論文と面接の対策を行いました。小論文では、過去5年分の過去問を解いて、先生に添削してもらい、過去問に似たような小論文を書いて練習しました。面接練習では、過去に聞かれた内容や面接でよく聞かれやすい内容の回答をノートに書き出しました。また、1年生の頃からオープンキャンパスや高大連携、看護体験など大学に行ける機会や大学の人と関われる機会があれば参加しました。何度も参加したことで、大学の雰囲気やどんな先生がいるかを知っていたのであまり緊張することなく試験を受けることができました。

保健福祉学部 作業療法学科4年 濱田メイさん



Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？

作業療法は疾患の治療だけでなく、その後の生活のことも考えてプログラムを行うことが特徴であり、その人らしい活動を通じてリハビリテーションを行えるのが良いと思いました。県立広島大学は多職種連携も重要視しており、チーム医療の授業があることが魅力の1つだと思います。

Q 学生生活はどうですか？

一人暮らしをしています。大学の近くには同級生や先輩も住んでいるので、一緒にご飯を食べに行ったり、集まって勉強をしたりできるので寂しくはないです。一人暮らしに慣れてくると、アルバイトと勉強を両立して行うこともできますし、そこでもつながりの輪を広げることができます！

Q 課外活動（サークル活動やボランティア等）は何をしていますか？

ダンスサークルに所属しています。他の学科や学年とも交流する場となっており、楽しく活動しています。地域のイベントや文化祭では自ら振り付けに挑戦したり、ダンスを披露したりするので、充実した大学生活を過ごせています。





Q 学生生活はどうか？

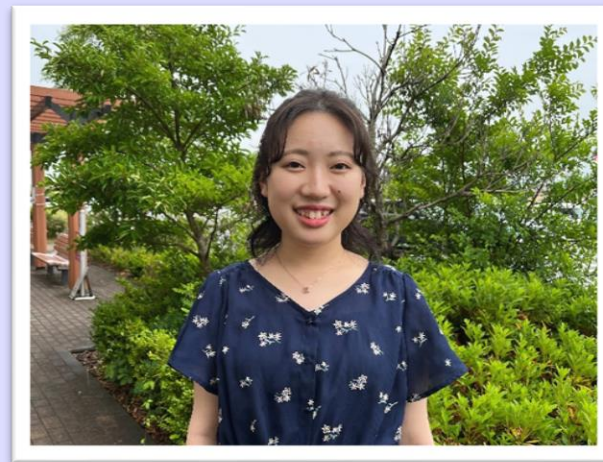
どの学年も忙しい印象がありますが、空きコマや休日に友達と出かけるなど、プライベートも充実しています。私は実家から片道2時間程かけて通っている珍しいケースだと思います。そのため、課題や睡眠時間を考慮し、アルバイトは日曜日のみしています。通学時間を勉強や仮眠の時間にあてたり、次の日が早い時は、一人暮らしの友達の家泊まらせてもらったりすることで、充実した毎日を送れています。

Q 大学に入って成長したことは？（授業や活動を通して）

コミュニケーション能力です。もともと私は、コミュニケーション能力に自信がありませんでした。しかし、大学に入るとグループワークや発表、臨床実習等のコミュニケーションをとる機会がとて増えたことで、少しずつ自信が持てるようになり、周りからも褒めていただけるようになりました。コミュニケーションは、医療職（特に言語聴覚士）として働く上で最も重要だと思うので、学生のうちにコミュニケーション能力を磨く機会をたくさん与えることができ良かったです。

Q 受験生に向けてのメッセージ

言語聴覚士を目指す方にとって、興味深く学べることばかりだと思います。「思っていたよりも大変」と感じるかもしれません。しかし、尊敬できる先生方、同じ目標を持ち助け合える仲間に出逢えると思うので、きっと大丈夫です！これから受験に向けて大変だと思いますが、それぞれの夢に向かって頑張ってください！応援しています(^^)



Q 学生生活はどうか？

大学生になって親元を離れ、三原で一人暮らしをしています。初めは慣れないことも多く、大変なこともありましたが、自由な時間が増え、趣味や勉強にも打ち込めるようになり、充実した日々を過ごしています。アルバイトは、発達障害などを持つ子供たちと関わる放課後等デイサービスとスーパーのレジ業務を掛け持ちしています。放課後等デイサービスでは、実習や臨床現場でも役立つ非常に貴重な経験をすることができています。

Q 受験勉強はどのようにしましたか？

私は推薦入試で入学しました。小論文は過去問を解き、面接は学校の様々な先生にお願いして練習しました。小論文が苦手だったので、塾や学校の先生に毎日のように添削してもらっていました。受験前日の夜には今までに書いた小論文を読み返して、ポイントを整理してから試験に臨みました。読み返すことで書いた時にはなかった視点から見直すことができたり、自分が以前よりも小論文を書けるようになっていたことを実感でき自信にもつながりました。

Q 大学に入って成長したことは？（授業や活動を通して）

以前は、伝えたい内容を誰もが分かるように簡潔に表現することが苦手でした。ですがレポートを書くときなど、普段から簡潔に分かりやすい文章を書くよう意識することで、苦手意識を軽減することが出来たと感じています。医療従事者は、患者さんやそのご家族に専門用語を使わずに分かりやすく説明して、理解してもらう必要があります。今後もこの意識を継続して、将来関わることになる患者さんやそのご家族と信頼関係を築いていきたいと思っています。

保健福祉学部 人間福祉学科3年 岡田優衣さん



Q 大学に入って成長したことは？（授業や活動を通して）

高校と圧倒的に違うことは、『自分の興味がある分野の勉強についての知識を深められること』『主体的に学ぶ機会が増えたこと』です。ディスカッションをする機会が増えたことで、自分とは違ったものの見方について勉強することができ、自分の考え方も変わったように思います。

また、福祉を学びたいと思っている人が集まっている学科だからこそ、自分と考えが似ている人も非常に多く、共感してもらえる機会も増え、自分に自信を持てるようになりました。

Q 受験勉強はどのようにしましたか？

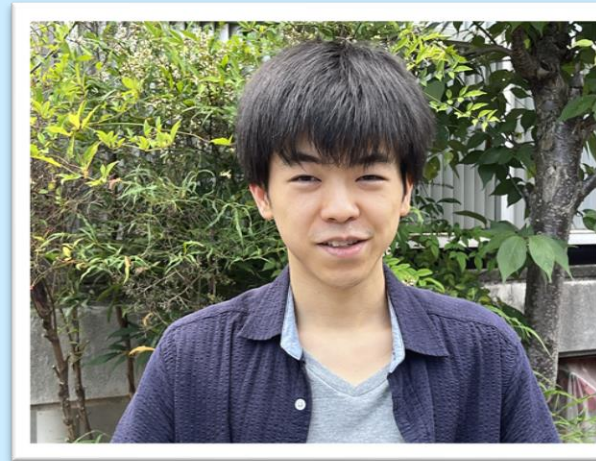
私は県内推薦入試を選び受験しました。小論文はまず図書館においてある本一冊をとにかく読み込んで、文章の構成の仕方を叩きこみました。そして何回もひたすら過去問を解き、担当の先生の添削してもらいました。面接については、手あたり次第面接練習に付き合ってくれる先生を探して、放課後や休憩時間を使って練習をしました。面接のコツは、質問の答えを丸暗記するのではなく、おおまかにこんなことを聞かれたらこう答えようかな、と箇条書きにしておいて、質問が来ても自分の言葉で答えられるように準備しておくことが大切だと思います。推薦入試は一般入試とは違って模試が無いので、自分がどれだけ今できている状態なのかを確認するのが難しいです。そのため、とにかく自分に自信がつくまで練習することをお勧めします。

Q 受験生に向けてのメッセージ

受験どころか、まだどんなことをやりたいかも決まっていない、どうしよう…と不安になっている方も多いと思います。そんな時は、自分の好きなことってなんだろう？興味があること・得意なことって何だろう？と考えてみてください。そしてたくさんインターネットや本で調べてほしいと思います。

私も、高校3年生の夏まで進路が決まっておらず、本当にあせっていました。そんな中で、ふと「私は人の相談にのることが得意だよな」と思い、社会福祉士という仕事があるのを知ったことがきっかけでこの大学を選びました。周りには進路が決まっている人、または目指す場所が決まっただけでもうそれに向けて勉強に取り組んでいる人もいますが、あなたはあなたのペースで大丈夫！あせらず、やるべきことを一つ一つ丁寧にこなしていくことが重要です。応援しています！

保健福祉学部 人間福祉学科3年 眞田晋さん



Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？

私は、高校時代に子どもの発達支援センターでボランティアをする機会があり、心の悩みや障害のある子どもとご家族を支援したいと思うようになりました。本学では、社会福祉士と精神保健福祉士両方の資格を取得できることに加え、オープンキャンパスで受けた講義がとても興味深かったため、受験を決めました。授業で他の学科と交流できることや先生との距離が近く、何でも相談しやすい環境にあることも決め手になりました。

Q 大学に入って成長したことは？（授業や活動を通して）

1・2年生の時は、コロナ禍でオンライン授業が主になり、始めは戸惑いでしたが、毎回出るレポートなどの課題にしっかりと取り組むことで、一つのテーマに対して深く考えることが出来るようになりました。3年生になってからは、対面授業が本格的に始まりグループワークが増えて、意見交換をする中で物事を多方面から捉えることが出来るようになりました。実際に病院見学に行く機会もあり、視野が広がったと感じています。

Q 受験生に向けてのメッセージ

受験生の皆さんには、将来なりたい自分のイメージを描いて、明確な目標を持ってほしいと思います。そうすれば、勉強への意欲も上がり、モチベーションを保つこともできると思います。進路について迷っている時は色々な大学のオープンキャンパスに参加することをお勧めします。大学の雰囲気や講義の内容などを知ることができ、得るものが多いと思います。一人で頑張りすぎず、友達や家族、先生の力も借りながら乗り切ってください。応援しています！